

自然共生社会を目指した取り組み

地域に密着した事業を営む京阪グループは、豊かな自然環境から多大な恩恵を受けています。事業活動が環境に及ぼす影響を認識し、さまざまなステークホルダーの方々と連携しながら、地域の豊かな自然環境の確保・保全に取り組んでいます。

比叡山の間伐材利用促進事業

当社では、平成25年度から、比叡山内の所有地約50haを対象とした森林経営計画(5年間)について大津市の認定を受け、間伐材利用促進事業に取り組んでいます。資源の循環と二酸化炭素の固定により地球温暖化防止に貢献するとともに、保水・土砂流出の防止・防風といった多面的機能が持続的に発揮されるよう、緑豊かな森林を育てます。

また、平成26年度の二酸化炭素吸収量に関し、「滋賀県森林CO₂吸収量認証制度」の認証交付を受けました。



比叡山内社有地での伐採作業

取り組んできたプロジェクトです。継続的な環境への取り組みが評価され、同社は、滋賀県と滋賀経済同友会による平成27年度「しが生物多様性大賞」を受賞しました。



美しい棚田



山野草プロジェクト

びわ湖の環境保全に向けた琵琶湖汽船の取り組み

びわ湖を舞台に観光船を運航する琵琶湖汽船(株)では、環境方針に「琵琶湖との共生」を掲げ、事業基盤であるびわ湖における環境保護活動に積極的に取り組んでいます。

■ 環境保護を目的とした各種クルーズ

環境体験学習に対応した観光船「megumi」による「びわ湖環境体験学習クルーズ」では、びわ湖の「歴史」「水」「生物」のテーマに沿った学習プログラムを提供しています。また、滋賀県内のすべての小学5年生を対象とした宿泊体験型の学習船「うみのこ」(滋賀県立びわ湖フローティングスクール)の運航も受託するなど、学び体験の観点からのびわ湖の環境保護活動に取り組んでいます。

びわ湖の自然や食文化を体感できるクルーズにも注力しており、平成21年からは「耐ずし作り体験クルーズ」を開催しています。これは、滋賀県と沖島漁業協同組合とともに、漁業と滋賀県伝統の食文化「耐ずし」の持続的発展を目指す取り組みです。



学習船「うみのこ」

地域との協働による駅の緑化活動

京福電気鉄道(株)では、花と緑がいつぱいの沿線とすることを目的に、沿線の皆さまとの協働事業として、平成21年から駅の緑化活動に取り組んでいます。

現在、西院駅など9駅にプランターや花壇、雨水タンクを設置。沿線の方々や沿線小学校・商店街のご協力を得ながら、環境にやさしく、お客さまに快適に感じていただける沿線を目指します。



宇多野駅

「里山の食彩」と「山野草プロジェクト」

(株)琵琶湖ホテルでは、「食べることが守ること」を合言葉に、棚田米など地元の食をお客さまに楽しんでいただくことで、食材の産地である里山の環境保全を目指す取り組み「里山の食彩」に、平成14年から取り組んでいます。累計で200tの棚田米を使用、約42haの棚田保全に貢献しています。

また、棚田米が生産される田んぼの畦をモデルとした自然環境をホテル敷地内に再現する「山野草プロジェクト」にも、平成21年から取り組んでいます。

これらの活動は地元の生産農家の方々などと協働して取

■ 桜の苗木の寄贈

毎年、(公財)滋賀県緑化推進会に桜の苗木を寄贈しています。開業90周年事業として昭和53年から開始したもので、累計の寄贈本数は平成28年3月現在で約10,000本になりました。今後も、湖国の緑化活動に協力していきます。



海津大崎の桜